

HIYOSHI CAMPUS CALENDAR

October 2011

2011.10.1. 発行 第141号

慶應義塾大学(日吉) HIYOSHI CAMPUS CALENDAR 編集部(日吉キャンパス事務センター運営サービス内) 編集・発行

2012年度慶應義塾大学派遣交換留学生 (第1期募集)

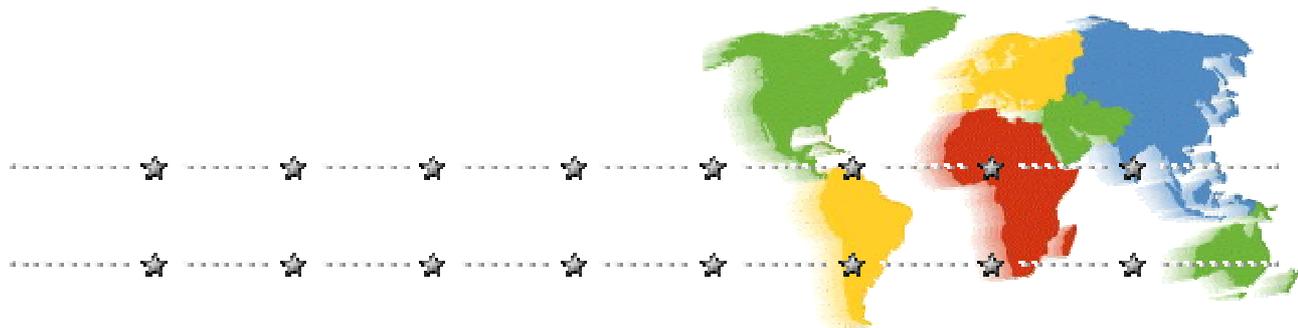
出願期間

2011年10月3日(月) ~ 10月6日(木)

*事前にオンライン登録が必要です。

詳細については、「2012年度留学のてびき・派遣交換留学募集要項」または
国際センターホームページ <www.ic.keio.ac.jp/keio_student/index.html> でご確認
ください。

「2012年度留学のてびき・派遣交換留学募集要項」は各キャンパス学生部国際担当
およびSFC事務室で配布しています。



「ゲノム研究の最前線 あなたは自分の遺伝子を調べますか？」

講演者：白井 哲哉 氏（京都大学 人文科学研究所 特定助教）

日時：10月24日（月）16:30～18:00

会場：日吉キャンパス 来往舎1階 シンポジウムスペース

参加費：無料（学生の参加歓迎）

問い合わせ：自然科学研究教育センター事務局（日吉キャンパス来往舎1階）

URL：<http://www.sci.keio.ac.jp/> Tel：045-566-1111（直通）

E-mail：office@sci.keio.ac.jp

筑前琵琶と語りの世界—音の力、ことばのカー

琵琶は古代に日本に伝わって以来、時代の流れと共に変遷しつつも、その独特の音色と奏者の巧妙な語りとで、永く人々に親しまれてきました。プロの琵琶奏者川村旭芳さんによる弾き語りとお話を通して、感動を呼ぶ表現力とは何かを考えてみましょう。

日時：10月28日（金） 18:10～20:00

場所：日吉キャンパス 来往舎1階 イベントテラス

司会：井奥成彦（文学部教授）

講師：川村旭芳（演奏/お話）

申込み：不要

問合せ：教養研究センター（Tel：045-566-1151 URL：<http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/>）

<プログラム>

前半：『平家物語』の世界

- 1 祇園精舎
- 2 若き敦盛
- 3 那須与市

後半：広がる琵琶の魅力

- 4 雪女 - 小泉八雲『怪談』より -
- 5 サインパンゼ号漂流譚 ~海は人をつなぐ母の如し~
- 福井県小浜市に伝わる韓国船遭難救護の記録より -



日吉メディアセンター（日吉図書館）

【夏季長期貸出図書の返却期限】

夏季長期貸出図書の返却期限について

期限：10月3日（月）

返却期限に遅れると休館日を含め1日につき1冊10円の延滞料がかかります。

他地区メディアセンターでも返却できます。

次に予約がないときや更新回数2回までは、延長して利用できます。

My Libraryから更新（延長）手続きをしてください。

（My Libraryについて <http://www.lib.keio.ac.jp/jp/keiojp/index.html> 参照）

【学習相談：レポートの相談受け付けます】

レポートって何？ プレゼンってどうすればいいの？ そんなとき、皆さんの先輩が相談にのります。レポート作成やプレゼンの基本についてサポートします。日吉図書館でお待ちしています。

期間：2011年10月3日（月）～2012年1月20日（金）

ただし、11月18日（金）～11月24日（木）、12月28日（水）～1月5日（木）は除く

時間：月～金 13:00～18:00

場所：日吉図書館1階 レファレンスデスク

URL：<http://www.hc.lib.keio.ac.jp/studyskills/consultation.html>

（日吉図書館トップページ スタディ・スキルズ 学習のすゝめ レポート・学習の相談）

【展示】

「読んで、見て、食べたくなったら作ってみよう！ 秋の夜長に美味しい作品たち」
食欲の秋にちなみ、日吉図書館で所蔵している資料から、「食」に関する本や映画を紹介します。福澤先生が1882年に創刊した『時事新報』連載の料理コーナー「何にしようか」で紹介されたレシピを元にした実際の料理写真も合わせて展示します。

料理写真は慶應義塾生活協同組合から提供いただいたものです。

期間：11月中旬まで

場所：日吉図書館1階 展示ケース



記憶の南校舎展

【イベント内容】

学校生活はいつも教室と共にあります。そこで学んでいるときは教室の空間や建物の造りなどに余り気にとめないかもしれませんが、時間を経て学校を訪れた時、校舎は当時の記憶を呼び起こす装置として私たちに働きかけてきます。校舎に近づき、廊下を歩き、教室に入る

- そこで過ごした場面が鮮やかに甦ります。空間の記憶はどのように我々の中に宿るのでしょうか。

創立100年を記念して建設された南校舎は50年にわたって慶應義塾三田キャンパスのメイン・ビルディングとしての機能を果たし、学生や慶應義塾大学に関わった者にとって、三田キャンパスのイメージの根幹をなす建築物でした。

天井が迫った暗い階段を抜けて大銀杏の立つ中庭に抜ける感覚、階段から左右に長く続く廊下、そして窓側にある不思議な外廊下 -

創立150年の建て替えによって、現実の空間としてはもはや存在しない旧南校舎を「慶應の建築プロジェクト」が撮影した写真と映像を中心に、「記憶の南校舎」として振り返ります。

【開催日時】

9月12日(月)～10月27日(木)

【開催場所】

慶應義塾大学アート・スペース(三田キャンパス 南別館1階)

【問い合わせ】

Tel : 03-5427-1621

Fax : 03-5427-1620

E-mail : ac-tenji@adst.keio.ac.jp

